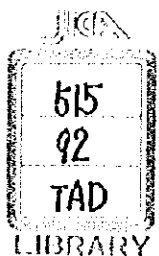


象牙海岸
第三国研修事前調査報告書

昭和58年3月

国際協力事業団
研修事業部



研管

JR

84-6

象牙海岸
第三国研修事前調査報告書

JICA LIBRARY

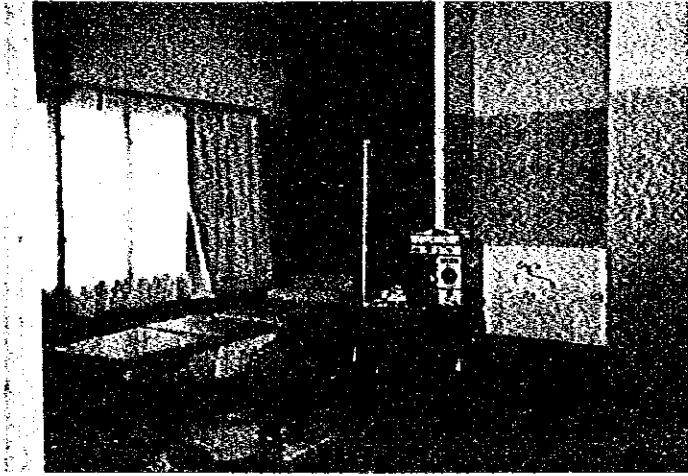


1064322[9]

昭和58年3月

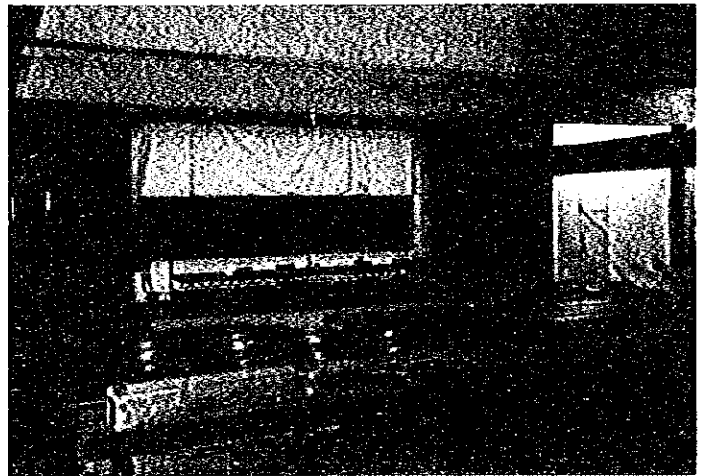
国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 7. 18	515
登録No. 10526	92
	TAD

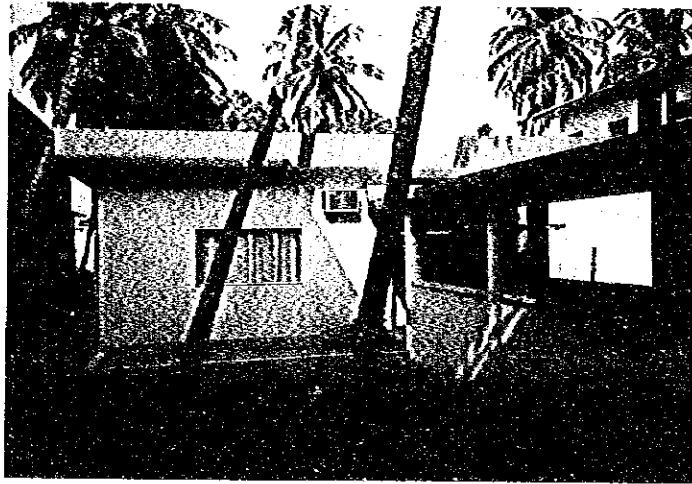


内視鏡棟内部

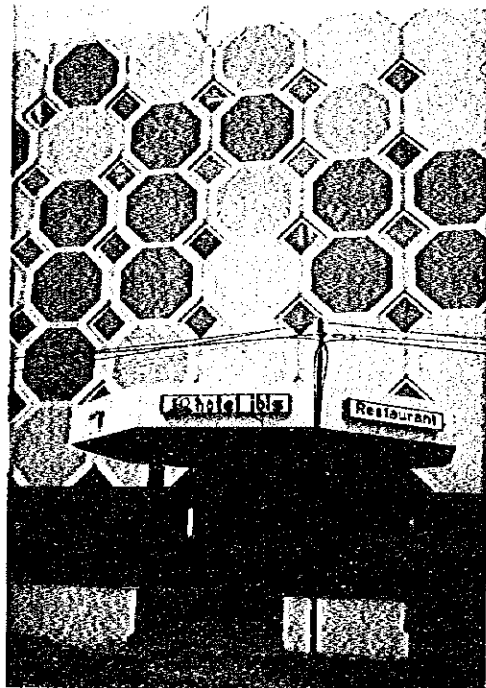
トレッツェヴィル病院レクチャールーム



トレッツェヴィル病院内科棟



トレッシュヴィル病院内視鏡棟



HOTEL IBIS

(研修員用候補宿舎)

目 次

I	調 査 目 的	3
II	調 査 団 の 構 成	3
III	調 査 日 程	3
IV	調 査 報 告	3
1.	経 緯	3
2.	西アフリカ医療事情	3
3.	内視鏡技術訓練の必要性	4
4.	象牙海岸の一般概況	4
5.	象牙海岸の医療事情	5
6.	トレッシュヴィル病院の活動状況及び内視鏡技術	5
7.	内視鏡コース(要請の内要)	5
8.	実 施 期 間	5
9.	そ の 他	6
10.	結 論 及 び 勧 告	6
別 紙 リ ス ト		
	別 紙 (I) 調 査 日 程	8
	(II) 研修実施経費積算報告書	10
	(III) ホテル料金等調べ	11
	(IV) 航空運賃精算書	12
	(V) 研修実施候補案件調査表(II)	13
	(研修の実施に関する事項)	
	(VI) 研修プログラム及び講師配置表	14
	(VII) 必要機材一覧表	15
	(VIII) 研修実施候補案件調査表(I)	16
	(候補機関に関する事項)	
	(IX) 供与機材一覧表(57年度・54年度)	17
	(X) 内視鏡棟見取図	19
	(XI) 保健・人口省組織図	20
	(XII) トレッシュヴィルCHU組織図	21

I 調査目的

本調査団は象牙海岸国政府より同国のトレスュヴィル病院に於ける内視鏡学についての第三国研修実施の協力要請を受け、その実施の可能性を調査する目的で昭和58年7月24日より、同年8月6日までの間、当該国に派遣されたものであり、本調査団の調査結果について以下のとおり報告する。

II 調査団の構成

団 長	木 村 健	自治医科大学教授 (消化器内科学教室)
団 員	大久保 政 幸	外務省経済協力局 技術協力第一課調査員
団 員	海老名 捷 彦	国際協力事業団 研修事業部研修第二課
団 員	松 谷 義 信	国際協力サービス・センター

III 調査日程

別紙のとおり

IV 調査報告

1. 経 緯

象牙海岸トレスュヴィル病院に対する我が国技術協力の実績は、1980年(5月~7月)に同病院内科部長のDR. BEDAを、また1982年(6月~10月)にDR. NIAMKEYをJICA研修員として招聘し自治医大にて内視鏡の研修を実施した他、前後2回(1979年度及び1982年度)にわたり同病院に対し単独機材供与として内視鏡ファイバースコープ等約3千万円相当の機材を供与している。右実績を踏まえ本年5月末には同国保健省より外務省を通じトレスュヴィル病院における内視鏡分野の第三国研修実施につき我が方に対し、協力要請がなされた。

2. 西アフリカ医療事情

西アフリカの医療事情は一般的に劣悪であり、一般民衆に対するものは、他の途上国と比較しても施設面で、あるいは技術面で劣っている。西アフリカに於ては医療組織の2重構造あるいは3重構造ということが言われているが、第1の組織は植民地時代に植民者自身のためあるいは被植民者宣撫のために設置されたもので西アフリカ諸国におけるフランス人医師によるPrivate clinicがこれに該当する。

ここに於ては一般的に医師のレベルも高く各々の専門とする分野では設備器具ともかなり整備されているのが普通だが、医療保険制度がまだ普及していないので、一般の人々が利用するには、料金の点で不可能な状況にある。なお在留邦人が医療サービスを受ける場合、多くはこの様な clinic を利用することになる。

第二のものは、独立した国の政府が押し進めようとしている国民全体のための医療組織であり、これは更に中央の総合病院と地方の保健所、あるいは小病院とに分けられる。中央の総合病院としてはダカールの CENTRE HOSPITALIER UNIVERSITAIRE のように日本人が治療を受けてもよいと思われるようなもの、あるいは象牙海岸のトレッシュヴィル病院のようにそのレベルに近づきつつあるものもあるが、当然備えておくべき薬品、医療器具が無いとか、医師の医療技術が劣るとか種々問題がある。地方レベルの医療組織となると更に劣っており、簡単な手当てをすることはできても、それ以上のことは中央の総合病院に患者を送り込む以外には手がないような状況にある。

3. 内視鏡技術訓練の必要性

消化器及び肝臓の診断に於て内視鏡の必要性及び重要性は広く認められているところである。トレッシュヴィル病院の話によれば、当国に於ても近年消化器疾患の患者数が増大し、内科部門での消化器内視鏡診断がますます重要となってきた。

このような状況は他の西アフリカ諸国にも同様に見られると推察され、事実同病院には近隣諸国から内視鏡診断のため、患者が訪れるとの由である。従って内視鏡の研修を同病院で実施すれば西アフリカ諸国の医療レベルの向上に貢献することは充分予測され、現に近隣諸国より、そのような研修についての問い合わせが同病院に寄せられているとの由であり、近隣諸国の本分野の研修に対する期待は大であると考えられる。

4. 象牙海岸国の一般概況

象牙海岸はアフリカ統一機構 (OAU) 西アフリカ通貨連盟 (UMOA) 西アフリカ経済共同体等の中で重要な位置を占め、西アフリカ穏健派諸国の中で指導的役割を果たしている。

1960年にフランスより独立して以来徹底した親西欧の自由経済路線を推進し、サハラ以南のブラック・アフリカ諸国中では他に類をみない高度成長をとげた。(因に同国のGNPは\$1,060(1980年世銀資料))。首都アビジャンは人口約150万人を擁する近代都市であり、西アフリカの交通要路としてヨーロッパ諸国と直通航路を保有し、他の西アフリカ諸国と西欧との間の中継地としての役割も果たしている。更に西アフリカの中では象牙海岸はセネガルと並んで最も交通網(道路)の整備されたところである。

このような経済発展にともない近隣諸国からの出稼ぎ労働者も多くマリ、オート・ポルタ、ベナンと言った貧しい国々から非常に高率の出稼ぎ労働者を受け入れている。当国の小学校教科書や、テレビ番組でも工業国としての我国が紹介されており、当国国民の我国に対する

関心は高い。

5. 象牙海岸の医療事情

西アフリカ諸国における医療組織の2重あるいは3重構造がそのまま象牙海岸に当て嵌る訳だが、同国においては、フランス人医師による Private clinic がよく整備されているのに比し、中央の総合病院の整備がやや立ち遅れているとの感がある。

象牙海岸には国民全体のための医療組織としては中央にトレッシュヴィル病院とココデイ病院の2つの総合病院があり、地方レベルでは保健所程度のものが各県に1つずつある。Private clinic としては、Clinique de Plateau (内科その他) Cabinet Pédatrie, Cocody (小児科), Centre des Pédiatries, Cocody 等があるが、いずれも比較的よく整備され良好である。

6. トレッシュヴィル病院の活動状況及び内視鏡技術

当国のめざましい経済成長の達成、風土病(マラリア、ハンセン病等)対策の普及による死亡率の低下等により近年に到り人口の爆発的増加が起り、それに伴い、消化器疾患の患者数も増加しアビジャン市の中央部に位置するトレッシュヴィル病院の内科部門の役割りは大幅に増大した。因にトレッシュヴィル病院の内科は4部門に分かれ、患者数は年間概ね以下のとおり、

1) Emergency Dept.	25,000名
2) Consultation Dept.	18,000名
3) Hospitalization Dept.	3,000名
4) Endoscopy Dept.	1,560名

上記患者数のうち約25%が近隣諸国からである(但し近隣諸国から流入した労働者も含む)

ENDOSCOPY部門では1980年9月より現在まで約1,700の症例について検査を実施し、生検による病理診断(検査)も実施しており、比較的豊富な経験を有し、技術レベルに於ても比較的高いと判断される。

なお、内視鏡医にDR. BEDA, DR. NIAMKY及びDR. DIALLOの3氏がおり、特にDR. BEDA及びDR. NIAMKYはJICA研修員として来日し、自治医科大学に於て内視鏡の研修を受けており、内視鏡検査の意義を十分に理解しており、同時に最も進んだ水準をも理解している。

7. 内視鏡コース(要請の内容)

トレッシュヴィル病院DR. BEDA 他3名との協議の結果は別紙調査表のとおり。

8. 実施期間

別紙調査表のとおり。

9. その他

(1) 外務省との協議

MR. ANOH（経済協力局二国間協力担当次長）との質疑応答は次のとおり。

- 調査団より本調査団の来象目的、本件の経緯及び第三国研修制度の概要について説明したところ同氏は本件に関する我が方のじん速なる対応について感謝するとともに調査団とトレッシュヴィル病院関係者との協議の概要を了承している旨述べた。
- 外務省としては、外交チャンネルによるコースインフォメーションの応募割当国への送付及び各応募割当国からの応募の取付ぎについて外務省がこれを行うことに異存のない旨確認した。
- 更に我が方より調査団帰国後の本件取り進め方について説明し先方はこれを了承した。

(2) 研修経費の送金方法

JICAからのトレッシュヴィル病院への直接送金は、同病院が政府機関のため一担銀行口座に入ってしまうと支出する際手続きが非常に繁雑となり現実的な方法でない等の理由により日本大使館で管理して欲しい旨強い要望がなされた。

大使館と協議した結果JICAより大使館に一担送金し大使館にて保管し必要に応じて同病院からの請求に基き同病院にその都度支払うこととするが、研修経費の管理責任は同病院が負うとともに経費見積りの作成請求及び研修終了後の精算報告書の提出等を同病院が行うことで異存のない旨確認した。

(3) ホテル宿泊料金等。

別紙。

10. 結論及び勧告

本調査団は以上の調査結果から判断し、さらにトレッシュヴィル病院が内視鏡棟を新設し、第三国研修の場として提供する準備をする等第三国研修の実施に極めて積極的であることから本件実施は可能と考える。

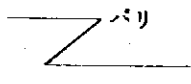
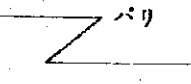
よって明年度実施を目途に研修用機材の供与及び我が方専門家の派遣等について前向きに検討し、本件実施に向けて明年度の早い時期にR/Dミッションを派遣することが望ましいと考える。

別紙リスト

- 別紙
- (I) 調査日程
 - (II) 研修実施経費積算書
 - (III) ホテル料金等調べ
 - (IV) 航空運賃精算書
 - (V) 研修実施候補案件調査表(II)
(研修の実施に関する事項)
 - (VI) 研修プログラム及び講師配置表
 - (VII) 必要機材一覧表
 - (VIII) 研修実施候補案件調査表(I)
(候補機関に関する事項)
 - (IX) 供与機材一覧表(57年度・54年度)
 - (X) 内視鏡棟見取図
 - (XI) 保健・人口省組織図
 - (XII) トレッシュヴィルCHU組織図

Ⅲ 調査日程

日付	日 程	場 所	面 談 者 等
7月24日(特)	東京発	パリ	(海老名・松谷両団員)
25日(伊)		アビジョン着	
26日(伊)	○大使館打合せ ○トレッシュヴィル病院協議	日本大使館 トレッシュヴィル病院	福島書記官 OR, BEDA 内科部長 OR, NIAMKY 医師 DR. DIALLO 医師 福島書記官同席
27日(伊)	○大使表敬 ○ホテル料金等調査 ○(木村団長・大久保団員)	日本大使館 市 内	杉谷大使 福島書記官
28日(伊)	東京発	パリ	
		アビジョン着(7/28)	
	○大使館表敬・打合せ ○トレッシュヴィル病院表敬	日本大使館 トレッシュヴィル病院	杉谷大使 福島書記官, 戸出医務官 DR. BEDA DR. NIAMKY DR. DIALLO 福島書記官同席
	○トレッシュヴィルCHU表敬 第三国研修制度の説明等引続き DIRECTOR主催の歓迎レセプション	トレッシュヴィルCHU	COL. TOALYトレッシュヴィルCHU DIRECTOR, DR. SOUCOUトレッシュ ヴィル病院長 他4名 福島書記官同席
	○トレッシュヴィル病院協議 研修内容・必要機材等について 協議	トレッシュヴィル病院	DR. BEDA 他2名
	○DR. BEDA主催レセプション	DR. BEDA 邸	トレッシュヴィル病院関係者
29日(伊)	○トレッシュヴィル病院協議 研修経費・実施計画等について	トレッシュヴィル病院	DR. BEDA 他2名
30日(伊)	○ココディCHU見学 ○大使主催懇談会	大 使 公 邸	DR. NIAMKY MR. RIGRAY同行 杉谷大使 福島書記官

日 付	日 程	場 所	面 談 者 等
31日(休)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料整理 ○医務官招待夕食会 	医 務 官 宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ DR, BEDA 他2名 加藤書記官
8月 1日(休)	<ul style="list-style-type: none"> ○大使館打合せ 送金方法等について打合せ ○トレッシュヴィル病院 トレッシュヴィル病院の活動状 況調査等 ○外務省表敬・協議 第三国研修制度の説明等 ○調査団主催レセプション 	<p>日 本 大 使 館</p> <p>外 務 省</p> <p>中 華 レストラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> (大久保・海老名・松谷団員) 加藤書記官 (木村団長) MR. ANOH 経済協力国二国間協力担当 次長 他3名 加藤書記官同席 DR. BEDA 他象牙側関係者及び日本大 使館 計15名
2日(休)	<ul style="list-style-type: none"> ○大使館調査報告 ○ DR, BEDA 協議 送金方法等について協議 ○ (木村団長) アビジョン発  パリ (8/2) 	<p>日 本 大 使 館</p> <p>B E D A 宅</p> <p>東京着 (8/4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 杉谷大使 加藤書記官、戸出医務官
3日(休)	<ul style="list-style-type: none"> ○大使館最終報告 ○海運アカデミー視察 ○トレッシュヴィル地区交通機関 ホテル調査 	日 本 大 使 館	<ul style="list-style-type: none"> 加藤書記官 (大久保団員) (海老名・松谷団員)
4日(休)	<ul style="list-style-type: none"> アビジョン発  パリ 	東京着 (8/6)	<ul style="list-style-type: none"> (大久保・海老名・松谷団員)

第三国研修実施経費積算書国名(象牙海岸)

実施期間(ドレッシュヴィル病院)

研修科目(内視鏡)

支出科目	精算	基礎	金額
1 受入諸費			(CFA)
(1) 航空賃	別紙		2,015,000 (1,225,000円)
(2) 滞在費	(8,000CFA + 9,000CFA) × 30日 × 3.5月 × 8人 ホテル代 食費		14,280,000 (8,675,000円)
小計			16,295,000 (9,900,000円)
2 研修諸費			
(1) 研修旅費	同行者旅費 (8,000CFA + 9,000CFA) × 2人 × 2泊 マイクロバス備上	168,000CFA 68,000CFA 100,000CFA	168,000 (103,000円)
(2) 交通費	ホテル ~ 病院 200CFA × 2往復 × 30日 × 3.5月 × 8人		336,000 (205,000円)
(3) 会議費	開閉講式 250,000CFA × 2回		500,000 (304,000円)
(4) 資材費等	通信費 終了証書作成 テキスト作成 文具等 G I 作成	1,300,000 100,000 300,000 500,000 200,000 200,000	1,300,000 (790,000円)
小計			2,304,000 (1,402,000円)
合計 (1 + 2)			18,599,000 (11,302,000円)
			1CFA ≒ 0.60747円

ホテル料金等調べ

第三国研修・研修員用ホテル
象牙海岸国内視鏡コース

ホテル名	所在地区	料金		トレッシュヴィル病 までの所要時間
		バス付 (CFA)	シャワー (CFA)	
HOTEL IBIS (プール有)	トレッシュヴィル	11,900		バス利用15分位
HOTEL DE FRANCE (中庭有)	'	12,000	7,000	"
HOTEL INTERNATIONAL		8,400	7,000	'
HOTEL HAMANIEH	マ ル コ リ	10,500		'
HOTEL MONAPI	'	7,000	6,700	'
<p>○ 設備環境の点でHOTEL IBISが最適と思われる。</p> <p>大使館の話によれば政府機関を通じて予約し長期滞在の場合1泊8,000CFA位で宿泊可能との由。</p> <p>○ 1 C F A ÷ 0.60747 円</p>				
参 考		(CFA)		
HOTEL TIAMA (調査団宿舎)	プ ラ ト ー	16,500		

航空賃積算基礎 (象牙海岸国内視鏡コース, 第三国研修)

1. セネガル	US\$	688	00
2. マリ		390	00
3. ニジェール		530	00
4. 上ボルタ		380	00
5. モーリタニア		895	00
6. ギニア		480	00
7. トーゴ (ザイールと同料金で計算)		970	00
8. ベナン ()		970	00
計		5,303	00

約2,015,000 CFA

(1US\$ = 380 CFA)

(象牙海岸)国における第三国研修実施候補案件調査表

(Ⅲ) 研修の実施に関する事項 調査年月日 (58.8)

番号	調 査 事 項	調 査 結 果	備 考
1	研修科目・内容形態等	別紙の通り	
2	対象とする研修員の資格条件	内科を専門とする医師で少くとも2～3年の経験を有する者	
3	研 修 期 間	毎年1回3.5ヶ月(最初は1985年2月より)	
4	定 員 (実施国以外の方) (実施国分)	8 名 1 名	
5	割 当 国 名	上ボルタ・ニジェール・ギニア・マリ・ベナン・トーゴ・セネガル・モーリタニア	
6	研修実施のために必要な短期専門家 (人 数) (分 野) (期 間)	別紙のとおり	
7	研修実施のために必要となる研修用機材 (品 目) (価 格) (免税引取の有無) (荷 物 入)	別紙のとおり	
8	G Iの作成・送付及び参加者の募集方法	G Iの作成:トレッシュヴィル病院 送付及び参加者の募集方法:象牙海岸外務省	
9	利用可能な医療機関の有無(機関名)		
10	海外旅行傷害保険契約締結可能な保険会社の有無(会社名)	JICA事務所がないので本部にて付保。	
11	利用可能な宿舎ホテル (名称・宿泊料金)	別 紙	
12	修了証書の発給者	未 定(修了証書は発給する)	
13	研修実施候補機関の予算措置	象牙海岸側も研修経費を負担することになる旨トレッシュヴィル病院に説明したところ了承した。	
14	我 国 の 負 担 経 費	別紙実行予算書の通り	
15	そ の 他	象牙側講師予定者2名程度のJICA研修による技術向上が望ましい。(出来れば本年度1名) (1) 内視鏡技術の教育教材についての研修 1 名 (2) 内視鏡技術 1 名	

研修プログラム及び講師 (象牙海岸国・内視鏡コース)
 (第三国研修)

研 修 内 容	研 修 期 間	講 師	
		象 牙 海 岸 側	日 本 側
1. オリエンテーション	3 日 日	象牙海岸側	
2. 基礎講義	2 週 間	DR. BEDA DR. NIAMKY DR. DIALLO	
3. 内視鏡・操作・メン テナンス			1 名 (2 週 間)
4. 実 習			
(1) 上部消化管	3 日	DR. BEDA	1 名 (2 週 間)
(2) 下部消化管	3 日	DR. NIAMKY	1 名 (2 週 間)
(3) 腹腔鏡	3 日	DR. DIALLO	1 名 (2 週 間)

第三国研修実施に必要な資機材 (象牙海岸国・内視鏡コース)

品 名	規 格	用 途	現在稼働 中の数	第三国研修実施に必要な機材		
				数	金 額	備 考
1. 内 視 鏡					(円) 24,820,000	
(1)上部消化管	PFS-FWⅢ	食道・胃・十二指腸 直視側視切換え可 (パンビュー型)	0	2	2,650,000	PFS-FWⅢは製造中止 FGI-D50@140万 (直視型) FGS-B50@125万 (側視型)
	FGI-SD	食道・胃・十二指腸 前方斜視細径型	4	5	5,750,000	FGI-SDは製造中止 FGI-SDS0@115万 (前方視細径型)
	FDS	(Fiber Duodeno Scope) 十二指腸 ・膵(胆)胆管造影	2	1	1,500,000	予算が無ければ削除も可 FDS-B50
	FES	(Fiber Esophago Scope) 食道鏡	1	0		
(2)下部消化管	FCS	(Fiber Colon Scope)	0	4	6,600,000	FCS-L50@165万
(3)腹腔鏡	LESL-CX	腹 腔		4	2,920,000	LASL-CX@73万
(4)アタッチメント						
(イ)供覧鏡	FS-TAII	Teaching Attach- ment	0	4	2,000,000	@50万
(ロ)光源	RW-300J			2	2,000,000	RM-300J@100万
(ハ)ランプ	RW-300J用			15	450,000	@3万
(ニ)WATER BOTTLE CAPACITY	RW-300J用			10	150,000	@1.5万
(ホ)生検鉗子	上 部 用 下 部 用			20 20	400,000 400,000	@2万 @2万
2. その他の資材 白衣 8着 映写装置一式 (スクリーン 映写機 フィルム 複写機 コピー用紙 手 袋 指 サ ッ ク					計 2,200,000 CFA (トレッシュヴィル病院調べ) (1,337,000円) 1 CFA ≒ 0.60747	

(象牙海岸) 国における第三国研修実施候補案件調査表

(I) 研修実施候補機関に関する事項 ・ 調査年月日 (58.8)

番号	調 査 事 項	調 査 結 果	備 考
1	機 関 名 (和 文) (仏 文)	トレンシュエヴィル大学病院センター CENTRE HOSPITALIER UNIVERSITAIRE DE TREICHVILLE	
2	所在地 (首都からの交通手段所要時間)	OI B, P. V, 13 ABIDJAN (アビジャン市内)	
3	設 立 年 月 日	1938年	
4	設 立 目 的 及 び 機 能	生活困窮者のための病院として設立され現在は当国の 中心的な総合病院としての役割を担っている。	
5	管 轄 省 庁 (和 文) (英 文)	公衆衛生・人口省 MINISTÈRE DE LA SANTÉ PUBLIQUE ET DE LA POPULATION	
6	設 備 ・ 所 有 機 材	建屋数23 (事務所, 診察室, 検査室, 病室等) ベッド数約1,000, 内視鏡機材	
7	所 有 面 積 (土 地) (建 物)	40 ha —	
8	職 員 数 (行政官) (技 官) (職 員)	医師101人 薬剤師8人 看護婦 (夫) 344人 その他504人	
9	独自の研修訓練の実施の実績	大学医学部学生の実習	
10	我国以外の先進国及び国際機関による本 件機関に対する技術協力の実績		
11	我国の本件機関に対する技術協力の実績 (1) 技 術 協 力 の 形 態 (2) 専 門 家 派 遣 (氏 名) (分 野) (期 間) (3) 機 材 供 与 (品 目) (価 格) (年 度) (4) 研 修 員 受 入 れ (分 野) (人 数) (期 間)	な し 別紙のとおり 早朝胃腸検診及び内視鏡 各1名 計2名 3ヶ月, 及び, 4ヶ月間	
12	第三国研修実施機関としての適性	当病院は公衆衛生人口省直轄の総合病院で研修の教室 及び実習の場として内視鏡棟 (今年完成見取図別添) を備え実施機関としての適性を有している。	
13	そ の 他		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量	単価	金額
1	自動送気送水装置付高輝度 光源装置 RM-300J型 移動架台 IL-JTH付	町田製作所	2	783,000 ^(円)	1,566,000 ^(円)
2	RM-300J用スペアランプ	"	18	18,000	324,000
3	細型前方視型上部消化管 ファイバースコープ FGI-SD型	"	4	945,000	3,780,000
4	細型食道ファイバースコープ FES-SD型	"	1		945,000
5	供覧ファイバースコープ FS-TAⅡ型	"	2	378,000	756,000
6	拡大型腹腔鏡 LA-SL-CX型 検査付属品 LA-EX型付	"	2	583,000	1,166,000
7	十二指腸ファイバースコープ FDSⅡ型	"	1		1,305,000
8	腹腔ファイバースコープ FLA-8型 検査付属品 LA-EX型付	"	2	853,200	1,706,400
9	直腸鏡 SIG-SL-A型 検査付属品SIG-SL-EX型及コットン キャリアー付	"	3	459,000	1,377,000
10	一要素直記式心電計FD-16型	フクダ電子	2	304,000	608,000
11	一要素直記式心電計FJC-7110型	"	2	309,800	619,600
12	生検付胃ファイバースコープ FGS-BL1000Ⅱ型	町田製作所	1		1,080,000
13	大腸ファイバースコープ FCS-L3型	"	1		1,485,000
14	油圧電動式内視鏡ベッド DR-700M型	"	1		891,000
15	スコープカメラ SQ-16型	"	1		189,000
16	内視鏡キーパー MT-6型	"	3	261,000	783,000
17	ホルマリンガス消毒器特大タブレット付	カトウ製作所	3	81,000	243,000
18	フレキシブルファイバースコープ用 自動洗浄装置 MC-11型 薬液18L(原液)付	昭永産業	1		1,350,000

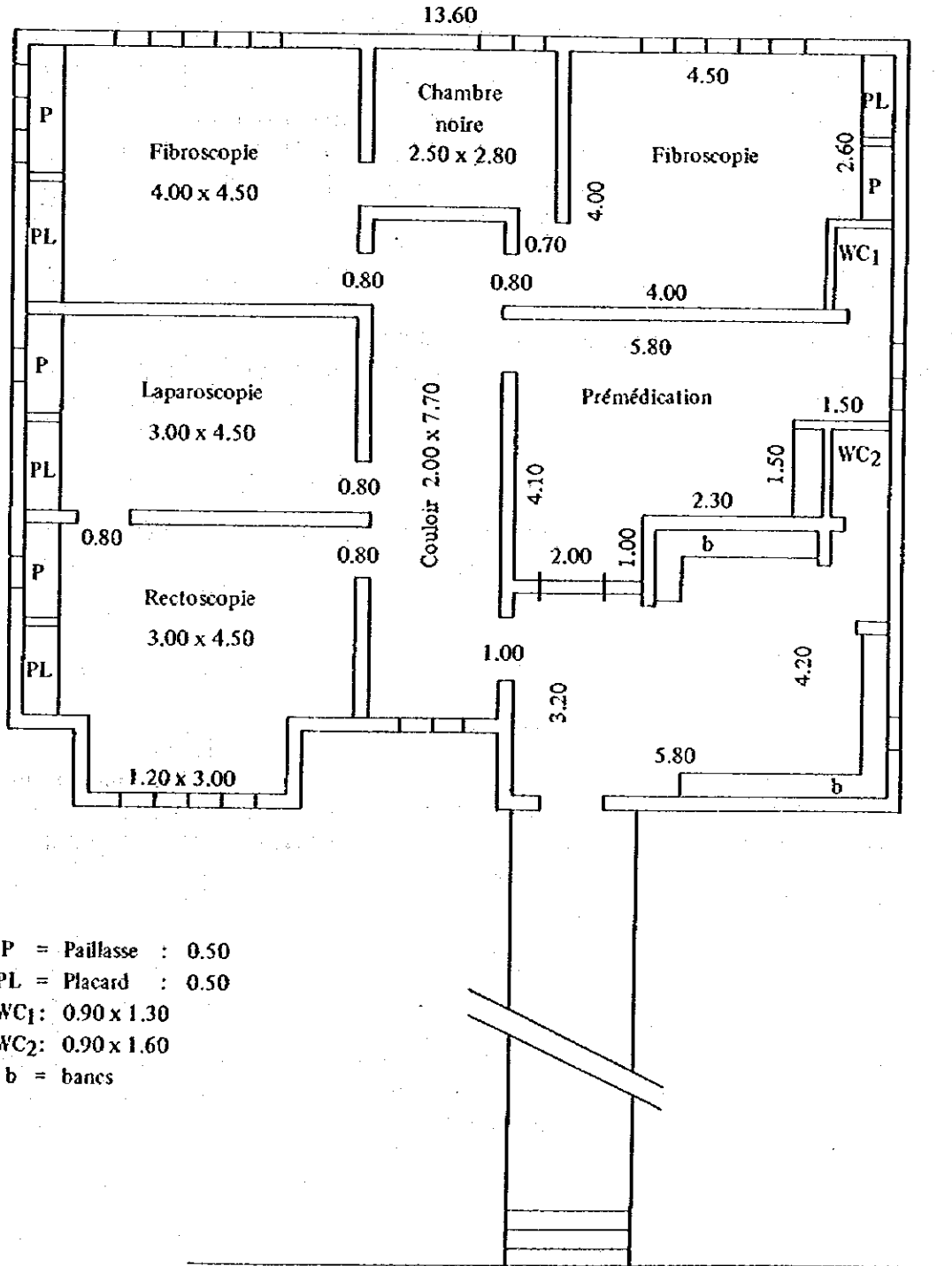
54年度単独機械供与

内 訳 書

(象牙海岸共和国)

番号	品 名	型 式 名	数 量	単 価	金 額
1-1	前方視型生検付上部消化管ファイバースコープ	PFS-FⅢ	2	840,000 (円)	1,680,000 (円)
1-2	同上用生検鉗子		5	9,100	45,500
1-3	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	2,100	10,500
2-1	前方斜視型生検付上部消化管 ファイバースコープ	FGI-FO	1		910,000
2-2	同上用生検鉗子		5	9,100	45,500
2-3	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	2,100	10,500
3-1	十二指腸ファイバースコープ	FDSⅡ	1		1,015,000
3-2	同上用生検鉗子		5	14,000	70,000
3-3	同上用造影チューブ		10	4,200	42,000
3-4	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	3,020	15,100
4-1	大腸ファイバースコープ	FCS-LⅡ	1		1,155,000
4-2	同上用生検鉗子		5	14,000	70,000
4-3	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	3,020	15,100
5-1	大腸ファイバースコープ	FCS-MⅡ	1		840,000
5-2	同上用生検鉗子		5	9,100	45,500
5-3	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	2,100	10,500
6-1	気管支ファイバースコープ	FBS-6TH	1		595,000
6-2	同上用生検鉗子		5	10,500	52,500
6-3	同上用鉗子チャンネル洗蘇ブラシ		5	2,100	10,500
7-1	自動送気送水装置付高輝度光源装 置 (マーキュリーランプ) ハロゲン水銀灯	RM-300J	1		525,000
7-2	同上用スペアランプ		1		14,000
8	供覧ファイバースコープ	FS-TAⅡ			315,000
9	スコープカメラ (OM-1, BODY, SQ-OM-78V, フォーカシングスクリーンを含む)		1		83,650
10	フィルムプロジェクター	PO-10	1		91,000
11	内視鏡レンズクリーナ		20	157. ⁵⁰	3,150
	計				7,670,000

PROJET D'UNE UNITE D'ENDOSCOPIE DIGESTIVE
 POUR LE SERVICE DE MÉDECINE INTERNE
 CHU DE TREICHVILLE
 (内視鏡棟見取図)

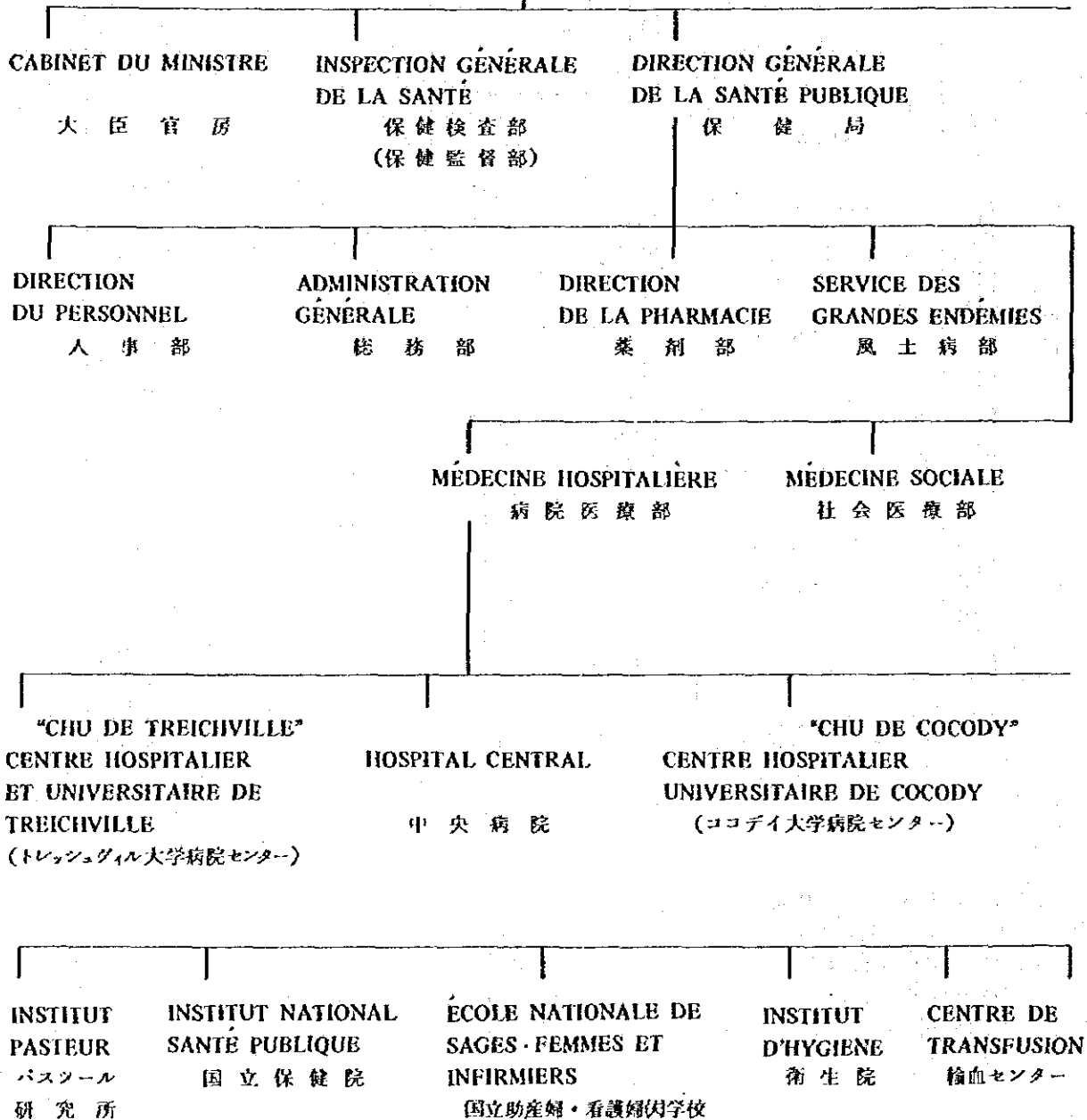


- P = Paillasse : 0.50
- PL = Placard : 0.50
- WC₁ : 0.90 x 1.30
- WC₂ : 0.90 x 1.60
- b = bancs

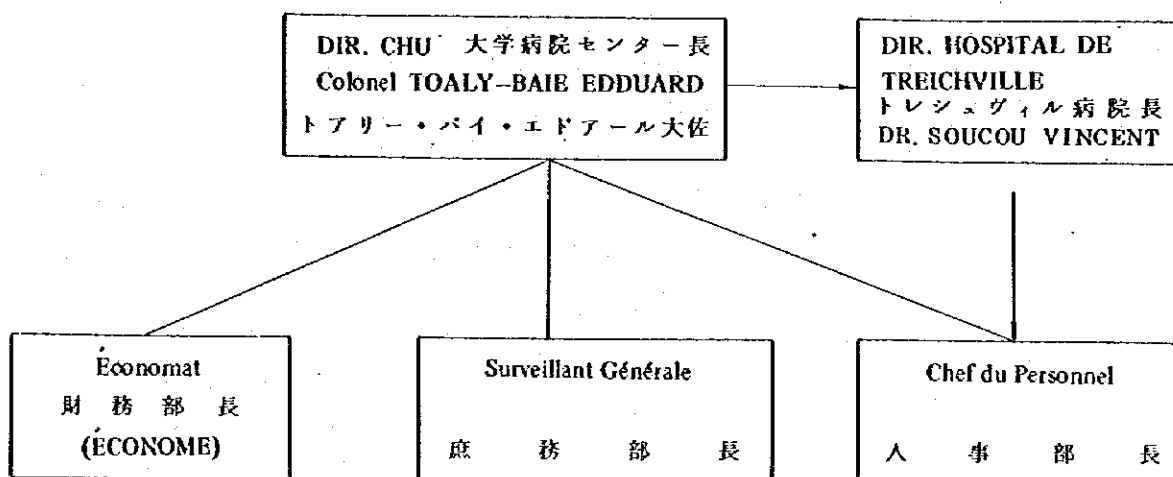
Médecine III

MINISTÈRE DE LA SANTÉ ET DE LA POPULATION

保健・人口省



トレシュヴィル大学病院センター組織図



- a) トレシュヴィル大学病院センター長
- 大学病院センターの経営を担当する。
 - 病院内の秩序を保つ。
 - 職員を勤務評価及び任命する。
 - 保健省大臣及び病院医療部長の方針を実施する。
- b) トレシュヴィル病院長
- トレシュヴィル病院長はトレシュヴィル大学病院センター長を補佐する。
 - 特に技術面での諸問題の処理を担当する。(大学病院センター長は経営の責任者であり、医学上の技術的な問題は処理できない。)
 - 病院の経営にあたっては、人事部長・庶務部長ともにトレシュヴィル病院長の指揮下に入る。
- c) 財務部長
- 大学病院センターの資金、資材の購入・保管を担当する。
- d) 庶務部長
- 病院の運営にあたっては、大学病院センター長・病院長を補佐する。
看護夫・ボーイの配置、病院内の清掃を担当する。
- e) 人事部長
- 病院内職員の配置、臨時職員の募集を担当する。

JICA